



クローバー通信

第 156 号



令和 2 年 3 月 10 日発行

〈医療法人社団 佐々木クリニック 介護老人保健施設 クローバー〉

〒191-0054 日野市東平山 3-1-1

☎042-585-8061



【雛人形が飾られたいつもの春が新型コロナウイルスに煽られています】

2月の子どもたちの節分の行事は、ガラス越しに行われ、鬼さんを怖がるけれども、子どもたちの元気な声が、複合施設全体を励ましてくれました。

また今月は、保育園ひよこハウスの子どもたちの卒園式があります。子どもたちは、利用者の皆さんと色々な行事を通じて交流させてもらい、沢山のことを学びました。

ひよこハウス両園のきりん組、らいおん組の子どもたちは、今年も、6年間のお礼も兼ねての「ありがとう会」を予定しましたが、新型コロナウイルス騒ぎで延期になってしまいました。この場をお借りして、子どもたちに代わり、お礼を申し上げます。

子どもたちは、4月からランドセルを背負って、ピカピカの1年生になります。利用者の皆さんとのふれあいを通じて、人として学ぶことが沢山あったと思います。

思い出しますと夏祭りのお神輿やハロウィンの行事ではご利用者の皆様からお菓子のプレゼントをいただくなど、色々な行事で一緒に楽しんでいただきました。

施設隣の触れ合い農園では、菜の花がきれいに咲き、ビオラの花と、新緑の麦の葉が春の到来を待ち遠しそうにしています。スノードロップがかわいい白い花をつけてお辞儀をし、チューリップ、クロッカスなどが芽を出しています。

窓から見える富士山は、青空をバックにして、真っ白で雄大な姿を見せて、人々の心を安らかにし、生活に潤いを与えてくれます。

廻りくる四季の中でも、春3月、早めの桜も咲き出して、元気に仕事をしていこうと気にさせてくれます。

ウイルス騒ぎに煽られずに、職員一同、力を合わせて施設運営に取り組みます。

ご利用者・ご家族の皆様の日頃のご支援ご協力に感謝いたします。今月もよろしくお願ひ申し上げます。

佐々木 榮一

